学校番号	325

令和３年度　地歴科

教科	地歴	科目	日本史 A	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版「日本史 A」　（山川出版）						
副教材等	新詳日本史　（浜島出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書を中心に、図説／資料、写真やパネル、ビデオ教材なども使って多角的に理解できるようにつとめる。また、主題学習や人物の学習、地域の動向など、各分野史の学習などを通して歴史の理解を深める。

2　学習の到達目標

わが国の歴史を近代と現代を中心に、世界史的な視野もふまえて総合的に学び、歴史的な思考力を培い、国際社会の主体的な担い手としての資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の日本を理解し、未来の日本を考えるために、過去の日本を振り返らなければならない。先人の足跡に尊敬の念をもち、これからの日本を担う人材としての意識を高め、積極的な態度で学んで欲しい。	歴史的事実にまず疑いの目をもつ。つまり裁判のように、歴史も立場が変われば事実のとらえ方が違うことを知る。５W１H に着目し、歴史に対する思考力を養っていく。	近現代史を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている	歴史学習の基礎は歴史用語の把握（理解と暗記）である。興味関心をもって、少しでも多くの用語を把握して欲しい
評価方法	授業への取り組み。 プリント ノート 課題提出	定期考査 プリント	定期考査 レポート	小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	開国と維新	幕末の動き・開国 明治維新（諸改革）	○	○	○	○	a:なぜ日本は列強の植民地にならなかったのか b:多面的・多角的に考察している。 C:明治政府による文書史料を読み解く d:人名、事件名等の把握	ノート プリント 小テスト
1学期	立憲国家の成立	自由民権運動 立憲政治 日清・日露戦争	○	○		○	a:大日本国憲法とはどのような憲法か b:日本がアジア最初の立憲国家になった意義 d:憲法の内容等	ノート プリント 小テスト
2学期	第一次世界大戦と日本	第１次世界大戦 ワシントン体制 政党政治の展開	○	○		○	a:参戦と協調外交 b:協調外交とはいかなる外交か d:ベルサイユ条約や軍縮条約の内容、二大政党について	ノート プリント 小テスト
2学期	昭和の恐慌と満州事変	大衆文化の形成 恐慌の時代 軍部の台頭	○	○		○	a:協調外交がなぜくずれるのか b:中国問題について考える d:経済問題に対する知識が必要	ノート プリント 小テスト
3学期	第二次世界大戦と日本	日中戦争 戦時体制と統制経済 第二次世界大戦と太平洋戦争 現代の日本と世界	○	○	○	○	a:どうして中国と戦うことになったのか、どうして日米戦争を戦かったのか、関心を持つ b:戦争への過程 c：戦後史料を読み解く d:全般	ノート プリント 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。